

日本肥満学会誌「肥満研究」投稿規定

1. 投稿原稿の種類

投稿原稿は、肥満および肥満症に関連する総説、原著、短報、症例報告、トピック、レター、特別寄稿などとする。原著、短報、症例報告は未発表の内容に限る。

総説 (Review) : ひとつのテーマに関連する多くの研究論文の総括、評価、解説

原著 (Original article) : 新知見や創意が含まれる研究の報告

短報 (Short article) : 原著に準ずる研究の速報

症例報告 (Case report) : 興味深い症例の報告

トピック (Topic) : 興味深い話題や知見の紹介

レター (Letter) : 編著者への意見、提案など

特別寄稿 (Special article) : 刊行編集委員会からの執筆依頼

2. 投稿原稿の筆頭著者と責任著者は原則日本肥満学会員に限る。ただし、編集委員会の合意があれば、日本肥満学会非会員に寄稿を依頼することを可とする。

3. ヒトを対象とする研究報告は「ヘルシンキ宣言^{*1} (1964年採択、最新の修正版を参照のこと)」の精神に則っており、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針^{*2} (令和3年3月23日制定、最新の改正版を参照のこと)」を遵守している必要があり、そのことを文中に明記する。また該当する場合「遺伝子治療等臨床研究に関する指針^{*3} (平成31年2月28日制定、最新の改正版を参照のこと)」も遵守している必要があり、そのことを文中に明記する。全ての研究は、倫理委員会の承認を得たうえで、承認番号の報告を必要とする。患者情報の含まれる研究報告については患者のプライバシーに配慮し、インフォームドコンセントを得ていなくてはならない。

*¹ ヘルシンキ宣言 <https://www.med.or.jp/doctor/international/wma/helsinki.html>

*² 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針、*³ 遺伝子治療等臨床研究に関する指針 <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyoyou/i-kenkyu/index.html>

4. 投稿にあたって、共著者を含めたすべての著者は、投稿時点の前の年から過去3年間における利益相反 (COI) について、日本肥満学会「発表者のCOI報告書」にて1名につき1枚作成し、日本肥満学会「肥満研究」編集部へ提出する。また、利益相反について論文の所定の箇所に記載する。COI状態がない場合は、「本論文の研究内容に関連し、開示すべき他者との利益相反を有さない」の文言を記載する。COIについては、投稿時点における最新の日本肥満学会の「利益相反 (COI) に関する共通指針」を参照すること。

参照：日本肥満学会 <http://www.jasso.or.jp/contents/download/index.html>

5. 動物を用いた研究報告は実施機関の動物実験指針に則っており、施設の動物実験委員会等の承認を得たうえで、承認番号の報告を必要とする。
6. 投稿の際には「投稿確認・同意書」に必要事項を記載のうえ、責任著者が署名したものを添付する。
7. 原稿の長さ

原著、総説、特別寄稿は原則として刷り上り10ページ (20,000字, 10,000 words) 以内とする。短報、症例報告、トピック、レターなどは刷り上り3ページ (6,000字, 3,000 words) 以内とする。図表は1点を400字に換算する。

8. 原稿作成要綱

原稿は次の要領に従って作成する。

- 1) 原稿の体裁：全て和文または全て英文とする。原稿はA4判横書きとし、ページすべてに通し番号をつける。原稿ファイルは、表題ページ、要旨、本文、文献を1つにし標準的な形式 (docx等) で作成する。英文の場合は原則として英文校正をうけること (証明する書類を求める場合がある)。

- 2) 表題ページ：表題，著者名，所属機関名，キーワード（5個以内），責任著者連絡先，ランニングタイトル，原稿枚数，図表の数を記す。英文提出の場合は，以上を全て英文のみで記載する。和文提出の場合，表題，著者名，所属機関名は，和文，英文とも記載する。
- 3) 要旨（Abstract）：原著および総説（総説企画を除く）では，背景・目的（Background and Purpose），方法（Methods），結果（Results），結論（Conclusion）の順に記載する。和文論文は，和文800字以内，英文400 words以内の両方を作成する。英文論文は英文400 words以内のみを作成する。
- 4) 本文：原著では，原則として，「要旨（Abstract）」に続いて「はじめに（Introduction）」「方法（Methods）」「結果（Results）」「考察（Discussion）」「結論（Conclusion）」「謝辞（Acknowledgements）」「文献（References）」の項目順に記載する。原著以外の原稿については，項目名，区分を自由とする。原稿中の用語は日本医学会編「日本医学会医学用語辞典 英和・和英」により，略語は初出のときに正式用語を用い，（ ）に略語を記す。度量衡の国際単位 SI JIS Z 8203（2019）を原則とする。
- 5) 文献：文献は本文中の引用箇所の右肩に引用順に番号をつけ，下記の例に従い本文の最後に一括して記載する。著者は最初の3名を記し，あとは「ほか」（英文では et al.）とする。雑誌名の略記は和文の場合は，原則として医学中央雑誌刊行編「医学中央雑誌目録：略名リスト」，英文の場合は Index Medicus を参照とする。ただし，本誌は略記も「肥満研究」とする。

【記載例】

<学術雑誌> 著者名（3名まで），表題，雑誌名，発行年（西暦），巻：頁-頁。

例1) 徳永勝人，中村 正，松澤佑次ほか：内臓脂肪症候群。日内会誌 1992, 81: 1831-1835.

例2) Stunkard AJ, Harris JR, Pedersen NL, et al.: The body-mass index of twins who have been reared apart. N Engl J Med 1990, 322: 1483-1487.

<単行本> 著者名（3名まで）：表題。編者名。書名。発行所所在地：発行所，発行年（西暦），引用頁-頁。

例1) 吉田俊秀：肥満における熱産生機構の異常。池田義雄，井上修二編。新版肥満の臨床医学。東京：朝倉書店，1993, 21-31.

例2) Stunkard AJ: Talking with patients. Stunkard AJ and Wadden TA (eds): Obesity: Theory and therapy. 2nd ed. New York, Raven Press, 1993, 355-363.

- 6) 表は，本文と別ファイルで，編集可能な形式（xlsx, docx 等）にする。表には，通し番号（表1，表2 など）と日本語の説明文をつけ，本文中に挿入箇所を（表1）等で明確に指定する。
- 7) 図・写真は，本文，表と別ファイルとする。図には，通し番号（図1，図2 など）と日本語による説明文をつけ，本文中に挿入箇所を（図1）等で明確に指定する。

9. 原稿の送付

- 1) 電子投稿を原則とする。
- 2) 電子メールは，日本肥満学会事務局「肥満研究」編集担当 宛 info@jasso.or.jp とし「肥満研究」投稿原稿であることを端的に記載する。添付ファイルとして，①カバーレター（編集委員宛宛，原著，短報，総説，症例報告，トピック，レターの別，論文内容のアピール，著者の連絡先等），②原稿，③表，④図・写真，⑤投稿確認・同意書，⑥日本肥満学会「発表者の COI 報告書」を含むこと。

宛先

メール題名：【日本肥満学会】「肥満研究」投稿論文

日本肥満学会事務局「肥満研究」投稿論文担当 宛

E-mail：info@jasso.or.jp

問い合わせ先：TEL：06-6978-8760

10. 投稿原稿の採否は査読審査をした後、編集委員会で決定する。投稿原稿の査読審査報告後、原則として3ヵ月以上経過してから再投稿された原稿は、新規投稿原稿とみなす。
11. 校正
著者校正は1回とする。
12. 掲載料
掲載料は刷り上り6ページまでは無料、超過分は1ページ当たり10,000円を著者負担とする。またカラー印刷を希望の場合は著者の実費負担（1ページ当たり約50,000円）とする。
13. 別刷
別刷の実費は著者負担（1部250円。ただし50部以上の作成及びページ数が6ページ以上の場合は別途見積）とする。
14. 学会誌および本学会のホームページ上に掲載された論文等の著作権は日本肥満学会に帰属する。

2006年4月17日改訂

2008年8月25日改訂

2009年10月25日改訂

2010年8月25日改訂

2011年12月25日改訂

2012年4月25日改訂

2013年8月25日改訂

2016年10月6日改訂

2019年11月1日改訂

2020年2月19日改訂

2021年4月15日改訂

2021年7月8日改訂

2023年6月29日改訂

著者の COI 申告書 ※この申告書は著者（筆頭著者，共著者）1 名につき 1 枚作成してください。

申告者は（筆頭著者・共著者）である。 ※いずれかに○をしてください。

著者名： _____

論文題名： _____

- *注意
- ・申告書は，筆頭著者及び共著者に関わらず著者全員の提出が必要です。
 - ・企業・組織や団体とは，医学研究に関連する利益を目的とした企業，法人組織，団体。
 - ・親族とは，著者全員の配偶者，一親等の親族，生計を共にする者。
 - ・投稿論文に関連して，開示すべき COI 関係にある企業などを項目ごとに記載する。
(投稿時から遡って過去 3 年間以内の COI 状態を申告すること)
 - ・本 COI 申告書は論文掲載後 2 年間保管されます。第三者に対して個人の申告内容が開示されることはありません。各項目の詳細は本学会の COI の指針および細則を参考にする。

	項目	対象者	有無の記載 (必須)	「有」の場合，企業名などを記載する
1	役員，顧問職への就任，報酬額 1つの企業・組織や団体から年間報酬額が100万円以上のものを記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
2	株式の利益 1つの企業から年間100万円以上，あるいは当該全株式の5%以上を保有する場合は記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
3	特許使用料 1つにつき年間100万円以上のものを記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
4	講演料 1つの企業・組織や団体からの年間合計50万円以上のものを記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
5	原稿料 1つの企業・組織や団体からの年間合計50万円以上のものを記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
6	研究費（治験，受託研究費，共同研究費など）・助成金などの総額 1つの企業・組織や団体からの研究経費を共有する所属部局（講座，分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が100万円以上のものを記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
7	奨学（奨励）寄附金などの総額 1つの企業・組織や団体から，奨学寄附金を共有する所属部局（講座，分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が100万円以上のものを記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
8	企業などが提供する寄附講座 企業などからの寄附講座に所属している場合に記載	本人	有・無	
		親族	有・無	
9	旅費，贈答品などの受領 1つの企業・組織や団体から研究とは直接無関係な年間5万円以上のものを記載	本人	有・無	
		親族	有・無	

(申告日) 年 月 日

(申告者署名) _____ (印)

一般社団法人日本肥満学会

投稿確認・同意書

日本肥満学会誌「肥満研究」に

著者名:

論文名:

を投稿するにあたり

1. 症例報告等の、患者情報、遺伝子情報に関しては、プライバシーに配慮し、特定される可能性のある場合にはインフォームドコンセントを得たこと
2. 本論文の内容は刊行物としては未発表であり、かつ他誌に投稿中のものではないこと
3. 投稿は共著者の了承の上で行われること
4. 本誌に掲載された論文の著作権は、日本肥満学会に所属し、同学会の採択するホームページ上に掲載すること、その他の二次的利用をすること

を同意します。

西暦 年 月 日

責任著者氏名（自署） _____ 印

所属名 _____